

島根県保健環境科学研究所
島根県感染症情報センター
Tel :0852-36-8188

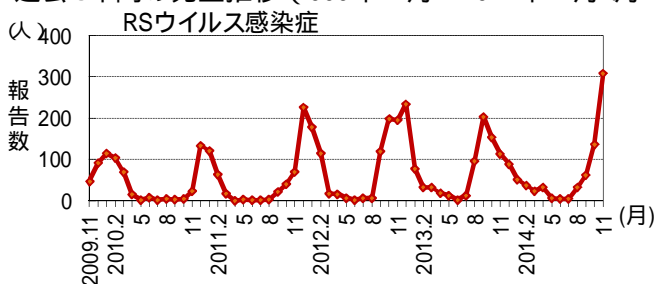
1. 県内感染症情報

1)全数報告感染症 (1~ 5類感染症) []は無症状病原体保有者を再掲
結核が13件[6](松江圏域6件[4]、出雲圏域2件[2]、浜田圏域3件、大田圏域1件、隠岐圏域1件)、
つつが虫病が2件(雲南圏域1件、出雲圏域1件)、侵襲性肺炎球菌感染症が1件(出雲圏域)報告され
ています。

* 週報告医療機関からの報告患者数(4週換算) :9月1,007件 10月1,048件 11月1,521件

2)インフルエンザ及び小児科定点報告 ()内は月の定点当たり報告数(4週換算) []は週当たり定点当たり報告数
インフルエンザ :(1.4)。第45週から毎週報告があり 漸増しています。第48週[0.7]は県全体では流行開始の指標と
なる定点当たり0.0人を超えていませんが、雲南圏域[2.0]及び出雲圏域[1.2]は定点当たり0.0人を超えています。
RSウイルス感染症 :(13.4)。8月以降、患者報告数が急増しています。隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり 出雲
圏域(30)及び松江圏域(19)で特に多くなっています。全国と比較して島根県は患者報告数が多い状態
となっています。全国の11月の患者報告数は過去の同時期と比べて最も多い状況となっています。
A群溶連菌咽頭炎 :(14.6)。松江圏域(30)及び浜田圏域(20)で特に患者報告数が多くなっています。全国の11月の患者
報告数は過去10年の同時期と比べて最も多い状況となっています。
感染性胃腸炎 :(21.9)。県全体で増加傾向となり 患者報告数が多い時期に入っています。大田圏域(44)、出雲圏
域(34)及び雲南圏域(27)で患者報告数が多い状況となっています。
水痘 :(3.7)。10月から幼児の定期予防接種が始まっています。大田圏域(9)、出雲圏域(6)及び松江圏域(4)
でやや患者報告数が多い状況となっています。11月の患者報告数84件は過去5年の同時期の件数(平均
145.4件)に比べ少ない状況です。2014年は全国的にも患者報告数が少ない状況となっています。
流行性耳下腺炎 :(2.9)。隠岐圏域(29)では10月から警報レベル[6.0]の流行が続いており、益田(9)でも患者報告数
が多い状況となっています。
咽頭結膜熱 :(2.4)。2014年4月をピークに患者報告数が減少傾向でしたが、11月は増加しています。出雲圏域(6)
で患者報告数が多くなっています。

過去5年間の発生推移 (2009年11月 ~ 2014年11月 :月4週で換算)



3)眼科定点報告

流行性角結膜炎の患者報告が1件あります。

4)性感染症報告

性器クラミジア感染症が12件、尖圭コンジローマが1件、淋菌感染症が8件の患者報告があります。

5)基幹病院報告

マイコプラズマ肺炎 2014年の累計患者報告数は96件となっています。昨年の同時期113件と比較しやや少ない状況です。
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 :月平均は2014年は11月までで40.4件となり2012年28.9件、2013年35.4件と比べ多い状況で
す。

2. 病原体検出情報 (9月 ~ 11月までの検出結果)

第47週に松江圏域で、第48週に雲南圏域でインフルエンザウイルスA香港型(AH3)が検出されています。RSウイルス感染症の流
行を反映して、10月、11月に肺・気管支炎から多数のRSウイルスが検出されています。感染性胃腸炎からノロウイルスG2、サボ
ウウイルスが複数検出されています。手足口病とヘルパンギーナは散発的な発生が続いており、コクサッキーウイルスA5、A10型
が検出されています。無菌性髄膜炎の散発例からコクサッキーウイルスB1、B3型が検出されています。

2014年9月から2014年11月までの診断名別病原体検出数 :島根県保健環境科学研究所(一部抜粋)

診断名	アデノ		キコクAサツ				キコクBサツ		エコー	パレコ	インザンフルザン	ルパエラインザン	RS	ライノ	ニヒトモタ	ヒトボカ	腸管アデノ	A群ロタ	ノロ		サボ	合計
	2	5	2	5	6	10	1	3	4	11	1	AH3	2					G1	G2			
インフルエンザ												7									7	
咽頭結膜熱							1			1											2	
感染性胃腸炎		1	1							2	1						1	1	1	4	5	17
手足口病					1	1	1							1								4
ヘルパンギーナ				1		4				1												6
咽頭炎						2	2			2		1		1								8
肺・気管支炎										1				8	3	1						13
熱性疾患	1		1							1	2					1						6
発疹症						1																1
無菌性髄膜炎							4	3														7

詳しくは、ホームページ <http://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/kansen/> をご覧ください。

島根県感染症発生動向調査情報 (定点把握疾患 月集計)

島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2014年 11月

平成26年11月3日 ~ 平成26年11月30日

区分	県		圏 域 別						年 齢 区 分										報告数推移 (今月)									
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	8月	9月	10月	11月	
インフルエンザ定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	54	28	26	21	6	26	-	-	1	-	-	1	4	-	1	-	3	4	4	6	4	10	17	6	37	1	54	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	309	155	154	135	12	149	1	9	3	-	62	63	108	44	21	6	5	-	-	-	-	-	-	33	62	137	309	
咽頭結膜熱	55	29	26	14	-	32	-	3	6	-	1	9	19	3	6	4	5	-	1	1	4	1	1	45	26	26	55	
A群溶連菌咽頭炎	336	165	171	211	2	35	2	60	17	9	-	2	3	10	32	39	38	42	38	25	27	62	18	144	191	242	336	
感染性胃腸炎	504	278	226	140	53	168	88	22	31	2	1	36	107	55	55	46	39	27	19	18	13	62	26	485	407	381	504	
水痘	84	49	35	28	2	32	17	4	1	-	6	3	21	22	7	9	3	9	1	1	-	1	1	47	35	58	84	
手足口病	14	9	5	2	-	2	9	-	1	-	-	1	8	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	27	37	30	14	
伝染性紅斑	3	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	2	3	
突発性発疹	78	44	34	39	3	19	3	4	9	1	1	39	37	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	63	66	78	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	5	3	2	4	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	161	79	19	5	
流行性耳下腺炎	66	29	37	1	-	-	3	10	26	26	-	-	5	8	6	15	9	5	4	4	2	6	2	21	55	76	66	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	1	1	
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	
無菌性髄膜炎	2	-	2	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3	2	2	
マイコプラズマ肺炎	7	3	4	2	2	-	3	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4	6	6	7	
クラミジア肺炎	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
感染性胃腸炎(ロタ)	2	1	1	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	

月の週数により補正しています。

島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

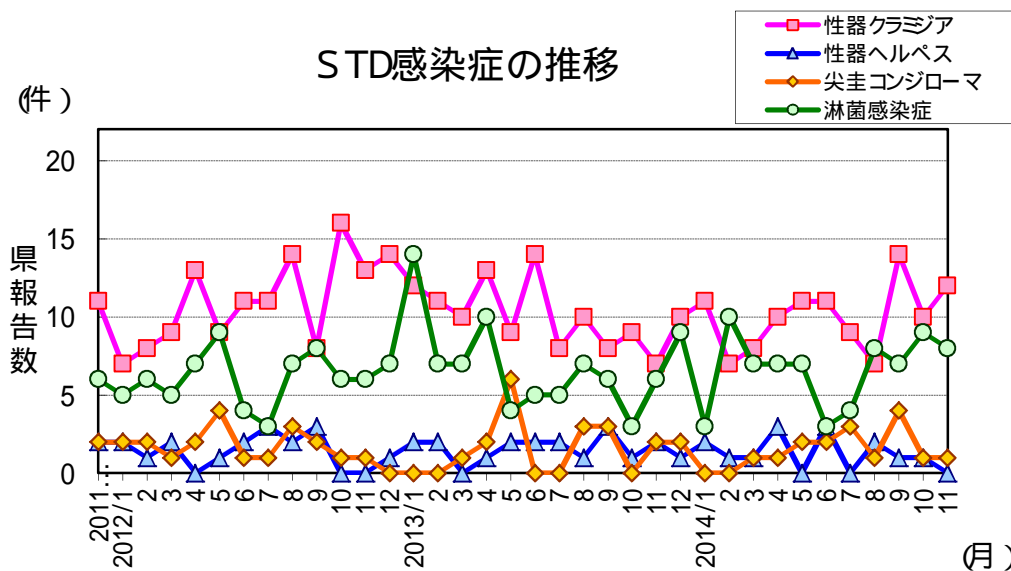
島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2014年 11月

平成26年11月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)														
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11月
STD定点	6			2	2	2	0									6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
性器クラミジア感染症	12	9	3	3	5	4	-	-	2	7	1	1	-	1	-	7	10	11	7	8	10	11	11	9	7	14	10	12
性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	1	1	3	-	3	-	2	1	1	-
尖圭コンジローマ	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	2	-	-	1	1	2	2	3	1	4	1	1
淋菌感染症	8	8	-	3	2	3	-	-	-	3	2	1	1	1	-	6	9	3	10	7	7	7	3	4	8	7	9	8
基幹病院定点	8			1	3	3	1									8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	36	24	12	5	17	13	1	1	-	-	1	1	1	8	24	31	33	39	41	37	36	42	42	39	43	42	47	36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	2	1	-	2	1	-	1	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	2	1	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

STD感染症の推移



薬剤耐性菌感染症の推移

